



「救助訓練って大変なんだね」

8/5 消防ふれあい広場

広報
なんたん

もくじ

- 2 鳥獣被害のない里づくりを目指して
- 6 南丹市 夏の思い出・・・
- 8 行政トピックス マルホ発條工業 新光悦工場しゅん工式他
- 10 いきいき南丹／ぶらりなんたん ～京都帝釋天～
- 12 図書館へようこそ／人権の窓

9月号

2007年 Vol.21

鳥獣被害のない 里づくりを目指して

—野生鳥獣から地域を守る—

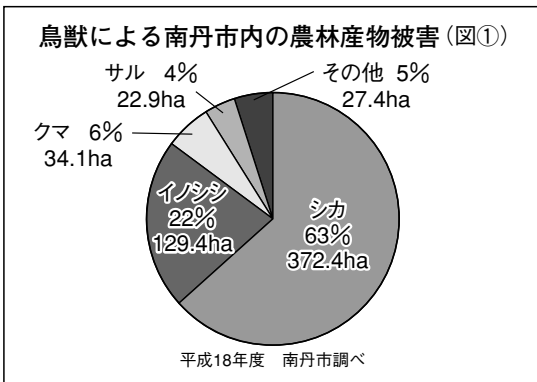
今年も実りの秋を迎え、気掛かりなのは「野生鳥獣」による農林産物への被害です。毎年、農家や家庭菜園の持ち主から、シカ、イノシシなどによる被害の情報が寄せられており、地域の農林業や人々の生活を守る対策が必要となっています。

野生鳥獣被害の現状

南丹市では野生鳥獣による農林産物への被害が多く、特に水稲や麦類、野菜、果物類、豆類などへの被害が大きな問題となっています。

現在、南丹市に生息する農林産物に被害を及ぼす主な野生鳥獣として、シカ、イノシシ、サル、タヌキ、アナグマ、アライグマ、ヌートリア、クマ、ウサギ、カラス、ハトなどがいます。

平成十八年度のこれら野生鳥獣による農林産物への被害額は、南丹市だけで約一億四



昔の農山村では、薪を家事的燃料として使用するため、毎日のように人が山に入っていました。そのため、山にすむ動物たちも、人が立ち入らないような山奥にすみ、人里へ下りてくることがない共存の社会ができていました。しかし、現代は人が山に入らなくなり、動物たちが里に下りやすくなったため、昔のような生活圏のバランスが崩れたことが被害発生の要因の一つとされています。

野生鳥獣への被害対策

千万円にもなり、図①に示すように、主にシカ、イノシシ、クマ、サルによる被害が多くなっています。また、南丹市は六百十六・三一平方キロのうち約八十八平方キロが森林という環境であり、とりわけ広域で被害が起きています。

豊かな自然環境を誇る南丹市で、その自然の恵みを受けながら生活している、私たち人間と地域の農林産物を守るために、南丹市では、さまざまな対策を行っています。

繁殖期を除き通常は雄の群れと雌の群れとに分れています。交尾期の秋に、雄は山に響き渡る特有の鳴き声を発します。雌は普通、生後一年半で性的に成熟し、約二百二十日の妊娠期間を経て五、七月頃に出産します。雄の小ジカは母親とともに一、二歳までともに行動し、その後はおかの雄と群れを作ります。

野生のシカは主にイネ科の草や木の葉、ドングリ、ササなどを食べていますが、有毒なシキミやアセビなど一部を除きほとんどの植物を食べることができず、シカは一度飲み込んだ食物を胃から再び口中に戻してかむ反芻動物で、二、四時間ごとに食べては休んで反芻するという活動を繰り返しています。

食害以外にも、角を樹木に擦りつけて皮をはぐ被害もあり、農林作物にシカを近づけない対策が必要です。



ニホンジカ

農林産物に
被害を及ぼす
主な野生鳥獣



▲山からシカが下りてこないように張られたネット

そのため、山からシカが下りてこないようにネットを張り、田や畑をイノシシに荒らされないように、電気柵を設置するなどの防除施設による対策がされています。

南丹市でも、野生鳥獣による農林業被害の防止を図るため、防除施設の設置に対して一定の交付基準を設けて補助金を交付しています。

防除施設による被害対策のほかにも、生活の中でできる対策があります。残飯などの生ゴミや不要になった農作物、果実などは、放置すると動物たちがそれを食料として食害



▲イノシシやシカを田畑に入れないようにする電気柵

するので、絶対に放置しないでください。特にこれからの時期はクマが庭の柿を食べに来ることがありますので、不要な柿の実は処分をしてください。

南丹市野生鳥獣被害対策運営協議会の活動

南丹市では市内の野生鳥獣による農林水産物などの被害について対策をしていくため「南丹市野生鳥獣被害対策運営協議会」(会長 杉森寛園部町森林組合長)を平成十八年一月に設立しました。

協議会は市内の森林組合、



▲審議会では野生鳥獣被害の対策が検討されます

農業団体、猟友会などから二十一人の委員で構成されています。今年四月十一日の会議では、平成十八年度の被害と捕獲数が報告されました。主な野生鳥獣捕獲数はシカが千四百一十一頭、イノシシが百四十六頭、サルが三十頭でした。また、平成十九年度の被害を最小限にするための捕獲計画が話し合われ、計画的な捕獲活動を現在、実施しています。

野生鳥獣の捕獲について

南丹市の猟友会には、現在

百七人が登録されており、毎年十一月十五日から翌年二月十五日までの狩猟期と、それ以外の期間は網などによる捕獲活動を年間を通してお世話になっています。

しかし、近年は猟友会の会員の高齢化や後継者不足という問題で、計画的な捕獲活動がままならないのが現状です。南丹市では被害を及ぼす恐れのある野生鳥獣の捕獲を行うことを目的とする狩猟免許の資格取得に対して補助を行う制度を設けています。

クマによる被害を 出さないために

クマ(ツキノワグマ)による被害で、最も大きいものが「クマはぎ」による林業被害です。「クマはぎ」とは、スギやヒノキなど長い年月をかけて育ててきた樹木の皮をクマがはがすことをいいます。

この被害対策として、防護用テープを張るなどして被害の軽減を図っています。また、「クマはぎ」による被害のほかに、民家周辺へ出没する被害もあります。山から下りて



イノシシ

里山を中心に生息し、鼻の力が強く、高くジャンプしたり、狭いすき間に潜り込んだりします。体長は百二十〜百五十センチくらい、体重七十〜百四十キログラムくらいで、突進したときの破壊力はすさまじいものです。一方でその体格の割に、狭いすき間でもくぐり抜けることができます。また、弾丸型の体型はやぶ山の移動に適しています。

性格は臆病で、主に人のいない夜間に活動しています。雑食性で、地面を掘り起こしては地中にある動植物(植物の根茎やタケノコ、ミミズなど)、ドングリなどの果実や昆虫のほか、カエルやヘビ、カニなどを食べます。繁殖力も強く、普通、春(四〜六月)に一度、一回に四〜五頭ほどを出産し、そのうちの半数が育つといわれています。

きたクマが、住宅地のゴミ箱をあさったり、農作物を荒らすなどの被害が、南丹市でも報告されています。

これまで、南丹市ではクマによる人身被害は発生していませんが、クマに突然出会ったりした場合には、人を襲うことがあるかもしれませんので注意が必要です。

クマによる人的な被害を出さないために、クマの目撃情報には注意して、山に入るときは鈴など音の出るものを身に付けて、クマと遭遇しないように心掛けましょう。また、クマに突然出会ったときには、あわてずにゆっくりと離れて、



▲クマはぎによる林業被害は深刻です



▲クマはぎを防ぐためにテープが巻かれます

クマを興奮させないようにしましょう。(図②)

シカ肉はおいしく食べられます

南丹市内で年間千頭以上が捕獲されるシカを、地域のブランドとして活用する新たな取り組みが行われています。今年度、南丹市美山町を重点エリアとして地域の活性化を図る「美山鹿肉キャンペーン」が、京都府南丹広域振興局主催、南丹市協賛で実施されています。

九月十日には、美山町内の十四の飲食店が参加され、美山町自然文化村河鹿荘(南丹



▲調理の指導を受ける参加者

市美山町中)の調理場で、シカ肉の調理講習会が開かれました。講師に料理専門学校「大和学園 ラ・キャリエール」の西洋料理専門調理師である笹井昭彦氏を招き、シカ肉の下ごしらえから調理までを指導していただきました。

一般的に「クセがある」とされるシカ肉ですが、調理を工夫すればおいしく食べることができます。一頭から摂れる肉の量が少ないという難点はありませんが、牛肉に比べるとカロリーは三分の一、脂肪分は十五分の一で鉄分やたんぱく質に富んだ健康食材として注目されています。

農作物に被害を及ぼす野生



▲味見をする参加者

鳥獣として捕獲されるシカですが、食材としての利活用により、今後は、南丹市の観光資源として地域の活性化につながる可能性があるかと期待されています。



▲シカ肉のブルゴーニュ風



ニホンザル

日本の固有種類で、体長は五十〜六十センチくらい。雌よりも雄の方がやや大きいのが特徴です。活動は主に日中で、果実、植物質を中心に、コケやキノコ、昆虫やカニやカエル、小鳥の卵なども食べる雑食性です。食料を求めて行動圏を巡回し、群れがいったん農作物の味を覚えてしまうと、何度でも畑や人里に出てくるようになります。また市街地にも群れから離れたサルが食料を求めて出没することがあります。食料がないと山へ戻りますが、餌付けをするなど、食料がある環境とわかると、そこに居着いてしまうので、注意が必要です。

クマによる被害を出さないための注意点

(図②)

山でクマと 会わないために

家の近くにクマを 引き寄せないために

①入山しようとする地域で クマの出没情報はないか注意する。

府広域振興局や市町村、地元住民から情報を集めて入山してください。

②クマの形跡がある ところには行かない。

新しいクマの糞、足跡などを見つけたらあわてず注意しながら行動してください。

林外の安全な場所が近くにある場合は、すぐに移動してください。

③突然クマと出会わないよう、 自分の存在を知らせる。

クマは臭覚が優れ、耳も人間より優秀です。たいてい人より先に人間の接近を知れば遠ざかるので、笛や鈴、ラジオを鳴らして歩きましょう。

④クマが活発に行動する朝夕の行動は特に注意を。

朝夕、人の活動が静まる時間帯にクマは行動が盛んになります。朝夕の山中での行動は十分注意してください。

⑤霧や風の日、川の近くでは注意する。

山中でこのような場面ではクマも感覚能力が発揮できず、人の気配に気づかず近くまで接近してしまうことがあります。

⑥子グマを見たら絶対に 近づかない。

近くに必ず親グマがいます。近づいたりすると子グマを守るため襲ってくる場合があります。すぐにその場から立ち去りましょう。



①家の周りには残飯を捨てないでください。

クマは、腐りかけた肉なども大好きです。

コンポストから出てくる悪臭はクマを呼び寄せることとなります。



②キャンプ地等 ではゴミや残飯 の管理を徹底してください。

味が付いた袋や空き缶などもクマを呼び寄せることとなります。

臭いが出ないようにビニール袋に密封して持ち帰ってください。



③ハチの巣は取り除く。

クマはハチミツが好物です。ハチの巣はクマを呼び寄せるものになりますので取り除きましょう。



お問い合わせ先

市役所農林整備課

☎〇七七一—六八—〇〇二二

各支所産業建設課

八木 ☎六八—〇〇二四

日吉 ☎六八—〇〇三四

美山 ☎六八—〇〇四三

山地にすみ、子育て中の親子以外は単独生活をします。体長は百二十〜百五十センチで、木の若芽や果実などの植物質のものから、昆虫やカエル・ネズミ・大型哺乳類まで食べます。しかし、大型の動物を襲ってまで食べることはあまりありません。冬期には樹木の穴や岩穴、土の穴にこもって冬眠します。雌は冬眠中に一〜二頭の子を産みます。



ツキノワグマ



▲園部小学校鼓笛隊によるパレード



◀園部吹奏楽団によるパレード

▼カラーガード隊が見事な旗さばきを披露



南丹市

夏の思い出

▲そのべの花火大会(15日)

午後1時から園部小学校鼓笛隊・カラーガード隊や園部吹奏楽団によるオープニングパレードが行われ、小学生による「ラデッキー行進曲」などの演奏や、見事な旗さばきが披露されました。夜には、恒例の花火大会が行われ、2,000発の花火が打ち上げられました。

八月の南丹市は、市内の各地で多くの催しが行われました。たくさん楽しい思い出を写真で振り返ります。

◀家族連れでにぎわった「鮎つかみ」



◀メイン会場となった自然文化村「河鹿荘」

▲美山の鮎まつり(15日)

鮎つかみやステージのイベントなどが美山町自然文化村「河鹿荘」で行われ、市内外からおよそ3,000人が来場し、家族連れらでにぎわいました。

また、社会人野球チーム「京都ファイヤースターズ」にもイベントへの出演やスタッフとして協力をいただきました。



▲つかみ捕りした鮎は、炭火で焼きました



◀大堰橋上流から見た花火

▲川面に浮かぶ灯ろう



▲園部公園から見た花火

▲やぎの花火大会(14日)

今年で61回目となる花火大会の歴史は古く、昭和22年から一度も途切れることなく続いています。7,500発の花火と大堰川に浮かぶ灯ろうの風景が、訪れた観覧者を魅了しました。



▲在りし日のまちに思いをはせる来訪者

◀幻想的な明かりが天若湖にとりもりました



▲^{あまわか}天若湖アートプロジェクト(18日)

風景とアートの力によって、地元と来訪者とが共に水源地域について考える機会を作り出そうと、桂川流域ネットワークを核とする実行委員会の主催で行われました。日吉ダム为天若湖には水没したかつての民家をたどる明かりが灯り、幻想的な風景を映し出しました。



新光悦村に進出第一号の工場が完成

—マルホ発條工業 新光悦工場しゅん工式—



▲マルホ発條工業の新光悦工場

京都府と南丹市が、園部町内林町・瓜生野地区に整備した京都新光悦村で「マルホ発條工業株式会社新光悦工場」のしゅん工記念式典が八月二十三日に行われ、佐々木市長や京都府職員など関係者およそ百人が出席しました。

マルホ発條工業株式会社は京都市下京区に本社がある金属の精密加工会社で、特に極細線加工、精密ばね製造では国内でも屈指の技術力で活躍されています。新工場は鉄筋コンクリート造りの三階建てになっており、述べ床面積は約三九〇〇平方メートルで、精密ばねや薬品の自動包装機の製造



▲句碑の除幕をされる高木名誉会長(右)と奥社長(左)

のほか、医療機器などの製品の開発研究がされています。

しゅん工式に先立ち、新光悦工場玄関前で、高木二郎代表取締役名誉会長の詠まれた俳句が刻まれた句碑の除幕式が行われました。

句碑には、「生み育てん 光悦の芸 新涼の技」とあり、京都新光悦村の由来となった江戸時代の芸術家、本阿弥光悦の独創的な技術を生み出した精神を受け継ぎ、この新たな拠点となる新光悦工場で、社員が自らの意思で進んで新しい技術を開発し、社会に貢献しようとの高木名誉会長の思いが披露されました。

記念式典では、奥康伸代表取締役社長が「京都縦貫自動

車道に近いという交通の便の良さ、里山の美しい自然環境のある良い立地の下で、伝統技術の良いところを残しながら、新しい技術に挑戦していきます」とあいさつされました。

その後、来賓らが新工場を見学し、伝統の組み紐ひもの技術と、最先端の技術が組み合わさったカテーテルの「ステント」(血管などを内側から広げるための医療機器)の製造などが紹介されました。

同工場は、京都新光悦村への進出第一号であり、今後も京都新光悦村では、多くの企業による新しいものづくりが進められていきます。



▲薬品の自動包装機を見学

JR吉富駅周辺地区の土地利用を審議

—南丹市都市計画審議会—

八月二十一日、第二回南丹市都市計画審議会が開催され、十七人の審議会委員が出席されました。

審議会では、八木町吉富駅周辺地区の良好な市街地を形成するため、建築物の適正な規制誘導をする地区計画について審議されました。

この地区は、JR吉富駅や国道九号、京都縦貫自動車道八木西インター等の交通環境に恵まれた地域で、今後土地区画整理事業をはじめ、新たな市街地整備を計画的に進めていきます。



▲新たな市街地整備について審議しました



▲工事の安全を願ってあいさつをされる市長

環境に優しい汚水処理施設の建設

—宮島・大野地区汚水処理施設建設工事祈願祭—

農業集落排水事業として美山地域内で六カ所目となる「宮島・大野地区汚水処理施設」の工事安全祈願祭が八月九日、美山町長谷の施設建設地で行われました。

この処理施設は美山地域の大野地区、萱野地区、長谷地区、島地区の一部を対象とする汚水処理施設で、今年度中の完成を目指して建設が進められています。

建設される施設は高い処理性能を備えており、放流される由良川への環境も配慮されています。



裁判員制度が平成21年度から始まりま

平成十六年五月に、「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」が公布され、平成二十一年五月までに裁判員制度が始まることとなりました。

裁判員制度は、市民の皆さんが裁判員として、殺人事件などの重要な刑事裁判に参加して、被告人が有罪かどうか、有罪の場合はどのような刑にするかを裁判官と一緒に決める制度です。裁判員は、衆議院議員の選挙権を有する人（二十歳以上）であれば、原則として、誰でも選ばれる可能

性がありますので、市民の皆さんには裁判員制度について理解と関心を持っていただく必要があります。では裁判員はどのようなようにして選ばれるのでしょうか？

選挙権のある人の中から、翌年度の裁判員候補者となる人を毎年「くじ」で選び、裁判所ごとに候補者名簿を作ります。その中から、事件ごとに「くじ」でその事件の裁判員候補者を選び、裁判所にきてもらう日時を通知します。裁判官から、候補者に聞き取り調査などを行い、最終的に「くじ」で裁判員を選ぶ手続きが行われます。

京都地方検察庁では、裁判員制度の広報ビデオ・DVDの貸し出しや、各種団体の会合の場へ出向いての説明会などを行い、啓発に努めておられます。説明会の依頼などの詳細については、検察庁へお問い合わせいただくか、市役所総務課へご相談ください。

裁判員が参加する仕事

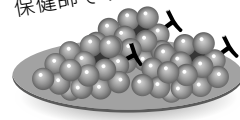
- ①裁判に立ち会って、検察官、弁護士・被告人の話を聞く。
- ②検察官と弁護士・被告人の話や証拠について、他の裁判員や裁判官と話し合う。
- ③被告人が有罪か無罪か、有罪のときはどんな罰にするかをみんなで決める。



お問い合わせ先
京都地方検察庁総務部
☎〇七五—四四一—九二八六
市役所総務課
☎〇七七一—六八—〇〇〇二

いきいき南丹

お元気ですか？
お保健師です。



-18-

命を救うリレーの第1走者はあなたです

～突然、人が倒れたら、救命処置ができますか？～

救命処置とは

私たちは、いつ、どこで突然のけがや病気に襲われるか分かりません。そんなときに、病院に行くまでに応急手当をすることで、けがや病気の悪化を防ぐことができます。

けがや病気の中でも最も緊急を要するものは、心臓や呼吸が止まってしまった場合です。心筋梗塞や脳卒中などは、何の前触れもなく起こることがあり、心臓と呼吸が突然止まってしまふことがあります。このような場合に、そばに居合わせた人が、命を救うために行う応急手当のことを救命処置といいます。

まず、一一九番通報

心臓や呼吸が突然止まった人の命を救うには、何をすればよ

いのでしょうか。

まず必要なことは、「すぐに一一九番通報する」ことです。通報が早ければ早いほど、病院に早く到着できます。また、病院に到着するまでの間も、救急隊員による高度な救急処置をより早く受けることができます。そばに居合わせた人たちが、救急車が到着するまでに救命処置を行うことで、命が救われる可能性も高くなります。

救命のリレー

一一九番通報をしてから、救急車が到着するまでの間に、まず気道を確保し、胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸などの心肺蘇生を行います。近くにAED（自動体外式除細動器）があればこれを使って救命処置をします。救急車が到着したら救急隊員に状況や施した処置を報告し、引き継ぎます。病院に搬送された傷病者は医師によって、専門的な救命医療を受けます。

これらの処置をつなげて命を助ける…これが「救命のリレー」です。救命のリレーのスタートはその場に居合わせた皆さま



▲市役所の窓口にAEDを設置しています

んです。皆さんがリレーのスタートを切ることで、人の命が救われることとなります。

AEDとは

AEDにはいくつかの種類がありますが、どの機種でも同じ手順で使えるように設計されています。

まず、電源を入れてください。以降は音声メッセージとランプで指示をしてくれますので、落ち着いて指示に従ってください。

突然に心臓が止まる場合、心臓が細かく震える「心室細動」によって生じることが多く、A

EDは心臓に電気ショックを与え、心臓の動きを取り戻すための機器です。

電気ショックが必要かどうかは機器が心電図を解析し、指示してくれます。必要ないと指示された場合でも、傷病者の反応がないときは、救急車の到着まで心肺蘇生（心臓マッサージ三十回、人工呼吸二回を繰り返す）を続けてください。

AEDの取り扱いには特別な資格や医療技術は要りません。誰もが使えるようになっていきます。

救命講習に参加しましょう

実際に救命処置が必要な現場に居合わせたときのためにも、消防署などが行う救命講習に参加しましょう。心臓マッサージや人工呼吸の方法、AEDの取り扱いなどを体験しておき、いざというときに救命処置が行えるようになりましょう。

南丹市役所では、市役所の本庁と各支所の窓口にAEDを設置しています。万が一、その付近で誰かが突然に倒れた場合には、このAEDを使用して、救命に役立ててください。

ぶらり

なんたん 18

たいしゃくてん ～京都帝釋天～

願いを鐘に、祈る心が響く京都帝釋天



▲勢ぞろいした四天王に守られる帝釋天の宮殿

「庚申さん」として親しまれる京都帝釋天。宝亀十一年（七八〇）、八木町船枝に和氣清磨公によって開創され、千二百年の歴史を誇ります。

帝釋天堂（京都府指定文化財）へと続く七百段の参道には、百八つの「願いの鐘」が並んでいます。一つ一つに願いを込めて鐘を打ち鳴らすと、思いをのせた音色が山に、心に響き渡ります。

ご本尊の帝釋天は、およそ三十三年に一度開帳される秘仏で、平成四年に宮殿が開かれて以来、その姿はひっそりと扉の中に納められています。



▲古色を帯びた本堂の前には、法輪の輪があります

帝釋天の両脇に静かな憤怒の形相で立つのは、増長天（市指定文化財）と多聞天（同上）。かつての大火で失われた持国天、広目天の二像も、昨年新たに完成し、四天王が勢ぞろいして四方を守っています。

毎年、大みそかの「除夜の鐘」には、夜十一時から参道の鐘にお灯明がともり、健康になれるという法輪の「火の輪くぐり」もできます。また、初詣でや春の大祭、庚申の日にも、多くの参拝者が帝釋天に願いを届けに訪れます。

ぶらり案内



寺務所／福寿寺
ご住職 鈴木 春海 さん

京都帝釋天には、地元船枝の30数軒で作る「講社」があり、雨の日も雪の日も毎日欠かさずおにぎりや野菜などの御膳が供えられるそうです。「希薄になりつつある地域社会のつながりが、ここ船枝では帝釋天を中心にしっかりと結ばれています。帝釋天をお守りするという熱心な心が、親から子へ、子から孫へと何百年も受け継がれて、人々をつないでいるのでしょう」と、鈴木春海ご住職。新たに参道につるす小型の「希の鐘」の設置にも現在取り組まれているとのこと。

参道や境内を歩くと人々の願いや思いが伝わってきます。また、「寅さんの鐘」や、「見ざる言わざる聞かざる」の三猿などを見つける楽しさもあります。

京都帝釋天 願いの届け方

◇よろこびの鐘

「願いの鐘」百八つを打った後、境内の大つり鐘をつきます。

◇厄難、不運飛ばし鶴

白い折り鶴に病や悩み、不運を乗せて吹き飛ばします。

◇小石結び

二個の小石（恋し）を赤い糸でしっかりと結び、恋、親子、友情の縁を結びます。



◇仏足石

帝釋天の足跡を刻んだ石に、いつまでも健康で歩けますようにと祈ります。

◇親子地藏尊

子のために荒波にのまれようとすする親に、時遅しと手を合わせる子の姿。供養や、親子の幸せを祈ります。

◇安産の鐘

安産や、子の健康を願って、母の鐘（大）、子の鐘（小）を打ちます。



各図書館の開館時間

中央図書館：9時～17時
 八木図書室：(平日)10時～18時・(日曜)10時～17時
 日吉図書室：(平日)9時～18時
 (土・日・祝)9時～17時
 美山図書室：9時～17時・(金曜のみ)11時～18時



素晴らしい日本文化のひとつ マンガ文化を再認識

今や日本のマンガ文化は、世界に発信・輸出することのできる、素晴らしい日本文化のひとつであるといえます。

昨年十一月、京都市中京区にオープンした京都国際マンガミュージアムでは、日本はもとより世界中から多くの来館者を迎えています。

そこで今年の夏休み期間中、中央図書館では『マンガ』をテーマにして、マンガ文化を体験しながら理解してもらう催しを行いました。

南丹市立図書館のイメージキャラクター“なびっと”を



▲たくさんの応募があった「なびっとの4こまマンガ」



▲中央図書館で行われた「夏休み子どもマンガ教室」

主人公にした『なびっとの4こまマンガ』の募集企画には、二百点を超える、アイデアに富んだ作品が寄せられました。また、京都国際マンガミュージアムから講師を招いた『夏休み子どもマンガ教室』には市内の子どもたち十人が参加しました。八月二十一・二十二・二十四日の三日間のうち、実際に京都国際マンガミュージアムも見学し、マンガの歴史や調査研究などについて、深く学ぶ機会となりました。

新刊紹介



「朝顔はまだ咲かない」
 著：柴田よしき
 発行：東京創元社

高校一年の時から引きこもりとなった私。私を訪ねてくるのは親友の秋だけ。秋は、奔放なイマドキの女の子。今日も、恋の一部始終を報告にやってくる。そう、引きこもりの私にだって、恋にも将来についても悩みはある。そんな二人の女の子が遭遇した、七つの出来事を描く青春ミステリー。



「だいすき ひゃっかい」
 作：村上しいこ
 絵：大島妙子
 発行：岩崎書店

夜になつても眠くないのは、お母さんになぞなどを出します。お母さんには分かるかな？親子でぎゅつとだっこしたくなる、おやすみなさいのスキンシップ絵本。



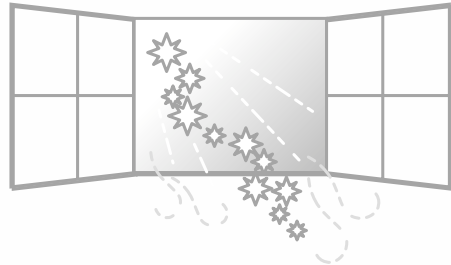
月	9月							10月									
日	28 (金)	29 (土)	30 (日)	1 (月)	2 (火)	3 (水)	4 (木)	5 (金)	6 (土)	7 (日)	8 (月)	9 (火)	10 (水)	11 (木)	12 (金)	13 (土)	14 (日)
中央図書館				休							休		話	話			
八木図書室	話			休	休						休	休					話
日吉図書室				休	休						休	休					話
美山図書室			休	休							休		話				

月	10月																
日	15 (月)	16 (火)	17 (水)	18 (木)	19 (金)	20 (土)	21 (日)	22 (月)	23 (火)	24 (水)	25 (木)	26 (金)	27 (土)	28 (日)	29 (月)	30 (火)	31 (水)
中央図書館	休							休			休				休		
八木図書室	休							休			休			話		休	
日吉図書室	休							休		話				話		休	
美山図書室	休							休			休				休		休

休…休館日 話…お話し会 ※9月1日から祝日は全館で休館になりました。

「伝え合う 分かり合う」ために

人権の窓を開けて、優しい陽の光と、さわやかな風を感じてください



「な
んや。ずるい！」

自分が図書室で予約していた
同じ本をB君が教室で読んでい
るのを見て、A君は思わず怒っ
てしまいました。何のことかわ
からないB君はぼかんとしてい
ます。後でよく聞いてみると、
B君が読んでいたのは図書室の
本ではなく教室にあった本でし
た。学校では、時として、このよ
うに「思い込み」から相手を攻
撃したり憎み合ったりすること
が起こります。この場合、「それ、
僕が図書室で予約してた本と同
じやな。B君も予約してたの？」
という一言があったらどうなっ
ていたでしょう。誤解も生じず、
同じ本に興味を持った者同士の
つながりも生まれたのかもしれ
ません。

園部小学校の人権教育では、
「伝え合う」「分かり合う」
ことを大切にし、そのための第
一步として、「コミュニケーション
能力」を育てることを重視して
います。毎朝のスピーチや授業
での意見交流をはじめ、人権月
間では保護者の方々と一緒にす
ごろくゲームの形でお互いを知
り合ったり、聴覚障がいのある方

から思いを聞いたりするなど、
さまざまな取り組みをする中で
言葉と気持ちを伝え合う場
面を設定しています。

学校でも家庭でも、私たち大
人は、子どもたちに対して、す
ぐに、「早く○○しなさい」と言
ってしまいます。「どうしたの？」
「○○はどうだった？」「それ
で？」と子どもの言葉を待つゆ
とりがほしいものです。子ども
たちは自分の思いを聞いてもら
えることで、自分が大切にされ
ているという実感を持ちます。
それは、他人を大切にできるこ
とももつながっていきます。忙し
い毎日の生活ですが、少しの時
間と、相手を持つ「心のゆとり」
を大切にしたいと思います。



園部小学校人権教育主任
清水 恵



ねんど工作
川崎 俊祐さん (2年)



廣瀬 歩美さん (4年)
習字



水彩画
波部 巧さん (6年)



ねんど工作
廣瀬 拓弥さん (1年)



松本 優汰さん (5年)
習字



水彩画
田村 優佳さん (3年)

なんたんミュージアム
—南丹市立吉富小学校—
3

八木町美里の西光寺で、毎年8月20日と23日の夜に奉納される京都府指定無形民俗文化財の「西光寺六齋念仏」が行われました。

午後8時、本堂に集まった白い浴衣姿の保存会の男衆が、鉦方による念仏を始めに、両足をそろえて太鼓を上下に振りながら「六鼓」「花振」の2曲を打ち鳴らして奉納しました。

汗をぬぐう太鼓方に、集まった地元の方々は、周りからうちわで風を送りながら見守っていました。



▲太鼓を打つたび、赤い房が鮮やかに円を描きます

(8/20・23 西光寺六齋念仏)

「純朴な音が心に響く
地域で守り続ける民俗文化財」

みんなのひろば

まちの話題を
紹介します



身近な話題を広報係(0771)68-0019へお寄せください。

「環境について親子で考える」

(8/15 ECOレンジャーやぎっ子隊)

親子でのエコ(環境保護)活動を通じて、子どもたちが地域のゴミ問題や環境問題を身近なものとして考えながら、自分たちの住んでいる地域を愛する心を育み、今後、子どもたちが地域貢献をするきっかけになってほしいと、八木町在住の小学生とその保護者を対象にした「ECOレンジャーやぎっ子隊」が、やぎの花火大会の翌日に大堰川河川敷の清掃活動をされました。当日はおよそ100人の親子が参加し、前日のお祭りで捨てられたゴミを拾い集めました。

今後は、地域のイベントでのエコ活動や、子どもたちが活動を通して感じたこと、自分たちに何ができるかを考えてまとめた手作り新聞で、もっと多くの人に地域の環境について考えてもらえるように取り組まれます。



▲花火大会の翌日、大堰川河川敷を親子で清掃

「女性のチャレンジは地域の元気力」

(8/30 「KYOのあけぼの大学」地域講座)



▲女性による地域活性化の事例を話される浜野さん

一人ひとりが個性や能力を発揮できる社会づくり、男女共同参画による豊かで住みよい地域づくりについて考える「KYOのあけぼの大学」地域講座が、南丹市日吉町生涯学習センターで行われました。講座では京都府女性総合センター館長の浜野令子さんによる「女性のチャレンジは地域の元気力!～方針決定の場に女性の力を～」と題した講演が行われ、「女性が社会に出るときに、家庭とどう両立できるかが課題である」と、男女共同参画社会に向けた課題などを話されました。

お詫びと訂正 広報なんたん8月号の記事に次のとおり誤りがありました。お詫びして訂正します。
18ページ そのべ七まつり… (誤) 小桜町 園寿会⇒ (正) 美園町 園寿会



▲おいしいバーベキューに参加者の会話が弾みました

地元子どもたちに国際交流の場を提供しようと、「フィールドトリップ in 府民の森ひよし」が日吉国際交流協会の主催で行われました。このイベントには京都府在住の留学生ら23人と、地元から小学生、高校生、協会会員ら40人が参加。琴グループによる琴の演奏と、お茶席を催しての歓迎式、昼食にはバーベキューをしました。その後、8グループに分かれて「宝探しゲーム」やスイカ割りなどをし、楽しく交流することができました。

(8/4 フィールドトリップ in 府民の森ひよし)

「日本の文化に触れながら、楽しく交流」

京都医療科学大学の公開講座として「パソコン講座」が2日間行われ、21人の方が参加されました。

講座では、パソコンを使った写真や画像の加工・整理と、簡単なアルバム作りが行われ、参加者はそれぞれが持ってきた写真を加工しながら、自分のアルバムを作りました。

大学では今後もオープンキャンパスとして市民が参加できる、いろいろな催しを予定されています。



▲講師に指導を受けながら、操作を学ぶ参加者

(8/22・23 京都医療科学大学 公開講座)

「パソコンを使って、アルバムを作る」

「打て！走れ！美山でソフトボール大会」

(8/5 美山子どもスポーツ大会)



▲日ごろの練習の成果を發揮しました

南丹市美山町内の小・中学生が、5つの小学校区に分かれてソフトボールで競う「美山子どもスポーツ大会」(南丹市教育委員会主催)が長谷運動公園で行われ、小学生の男子・女子、中学生男女混合のチームが勝敗を競いました。

各地域では夏休みに入ると、早朝練習にも取り組みました。試合当日は好天に恵まれ、子どもたちは練習の成果を精いっぱい發揮してプレーしました。

優勝は、小学生男子の部が平屋地区、小学生女子の部が知井地区、中学生の部が宮島地区で、総合優勝は大野地区でした。

「消防活動を体験して、防火意識を高める」

(8/5 消防ふれあい広場)

地域の方に消防署の活動を体験してもらうことで、消防に関心を持ってもらい、防火の意識を高めてもらおうと、園部消防署日吉出張所で「消防ふれあい広場」が開催されました。

会場には消防車や救急車といった車両が並び、訪れた方が車両や装備について見学したりハシゴ車に乗って、消防の活動を体験しました。また、府内で唯一整備されているクライミングウォール(ロッククライミングの模擬訓練塔)も体験でき、子どもから大人まで楽しみながら、消防署の活動に理解を深めました。



▲救急車の車内に興味しんしんの参加者



ふるさとの風景再発見!

■日吉町牧山地区「川講」^{かわこう}

集落内を流れる牧山川に入って身を清める伝統行事「川講」が8月7日、牧山地区で行われました。首に数珠をかけ、白い下着1枚の姿で無病息災を祈願する行事は、300年以上この地域に受け継がれています。

やぎの花火大会では、多くの人が夜空を彩る花火を楽しみました。その翌朝、大堰川河川敷に行くとき大量のゴミが散乱し、中にはお祭り関係のないゴミまで捨ててありました。それらを早朝から拾い、清掃活動を行ってくださった地元の方々やECオレンジヤヤーやぎっ子隊。地域を愛する心に関心しながら取材をさせていただきました。皆さんも自分の出したゴミは、きちんと自分で持ち帰って処分しましょう。

(S)

編集後記



●園部町

上原

わかな

和奏ちゃん (0歳11ヵ月)

「いつまでも元気で、かわいい笑顔を見せてね」

(パパ・ママより)



- 総人口：35,791人 (-30)
(男：17,225人・女：18,566人)
(-14) (-16)
- 世帯数：13,598世帯 (+4)

(平成19年9月1日現在)
()内は前月比

写真掲載の応募をお待ちしています。(応募数によっては順番待ちになることがあります) 詳しくは情報推進課広報広聴係まで

広報 **なんたん**

編集・発行：南丹市役所 企画管理部情報推進課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL：0771-68-0019 FAX：0771-63-0653
URL：http://www.city.nantan.kyoto.jp
e-mail：jouhou-s@city.nantan.kyoto.jp



本紙は環境への配慮から、古紙100%の再生紙に、ソイインキ(大豆油)で印刷しています。